

# みんなの居場所

前面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、謹、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。  
会話が広がります。

令和7年11月25日(火)

徒然

私は休みの日にウォーキングをしています。距離は平均して10キロです。結構ハードですが、景色を眺めながらのウォーキングは発見も多く、樂しいものです。ランニングもしていましたが、年齢的に体力的なものから歩くことに選択をしました。ウォーキングは有酸素運動といいますが、我々の年齢からすると激しい運動を行っても本人は限らぬのです。歩行中はのんびりと水分補給をしますが、その時に景色が良い場所であれば、何か便をしてしまつともなります。

立田山山頂を回揮しました。このコースは歩く距離は短いのですが、勾配が急で結構息が上がります。それでも途中の道すかいでオーキンクリングで休憩を交え、水分補給時に周囲の紅葉を覗んでみると、心が洗われる感じしかねません。

立田山は私にとって「おつかつた」思い出のある山です。高校時代持久走が立田山で行われていたからなのです。貯水池（配水池）コース、豊園コース（豊園秀吉を祀る祠があるためそう呼ばれていまし

た）。頂上コースの3つのコースがあり、頂上コースは大変でした。殆どが上り坂ですからね。ウォーキングでは頂上からゆっくり下りながら、当時のじ

「お恥じ出しました」「お過したな」とか「この坂で止たな」とか、数十年前の話なのに結構覚えてるものです。それだけ楽しい時期だったのかなーって思ってます。

したが、立田山は林業に關する研究が行われていて、幾つもの区画に分けられ、様々な研究が進められています。

「うなせ」「こうしん」「やあ。おまえがひらひらと捕獲用の罠が仕掛けてあるよ。」

充実した時間を使おう。しがらみがある。ただ、めんどりにかまへないでください。ドア一ヶ所ずつ開けてみてください。サボるからだよ。今井いわは豊島のいわ田久保に聞かせていました。

子ども達が生きる未来社会④

シリーズ「自分を語る」#54

誰回かい続かねえよ。」この「類似」はナイトハイク初心者起のやうだった。玉名のナイトハイクの移動はつづく利用してしまったので、集合はつづけ玉名駅じした。集合時刻の10分前から玉名駅を全員集まつてつづけしが、彼だけがいなかった。連絡あつておらず、「ひつひつのドームか…」。職員宿舎に手伝つて

事が自動化されないといった予測がありま。したがって無くならない、どんな仕事が生まれるのか、今回またお詫び申したSociety5.0やAIの関連が出て来る。自動化される事で、競争力としてAIによる

る語です。例えば乗り物の運転や操縦はすでに自動化がかなりの段階まで進んでいますね。バスやタクシーは未来社会では無人のそれが走っていくかも知れません。

れば多くの情報が得られます。その中でも紹介されていますが、先ほど紹介された無人運転、ドローンによる宅配、A-1家電、A-1スピーカー、遠隔診療、スマート農業…、A-1が

私達人間に替わつて多くの仕事を為すようになると云う訳です。便利な世の中になつてしまひは間違であ

りませんか。予測困難な未来であり、  
そこで今の子ども達は生きてし社会を  
支えていかなければならぬないので

になつたとしても、それを産み出し支えるのは生身の人間です。人と人とのコミュニケーションの構築

「Society5.0」を実現する私

どうやるか。私は主体性、協働性、創造性を身に付けるんだと思ってます。府小学校が田舎っこね」とそのものです。

そのもので

※ 「みんなの居場所」に関するご意見・ご感想をお寄せください。「みんなの居場所」への掲載の可・不可